



12月は
人権啓発月間！

第11号 12月_2
令和5年12月5日
児童数750名

ひとり しあわ なまえ
一人ひとりを幸せにするための名前

本校は「命を守り、命を育む」学校づくりのために、安全で安心な環境づくりに取り組んでいます。この土台の上に欠かせない取り組みとして「じんけんかんかく（人権感覚）を育む」ことを大切にしています。



「じんけん」とは、わかりやすく言うと一人ひとりが「幸せに生きる権利」のこと。一人ひとりが「幸せに生きる権利」とは自分以外の人にも幸せに生きる権利があると言い換えることができます。

さて、学校では、一人ひとりに名札をつけてもらったり上靴に名前を書いてもらったりしています。それだけではありません。



一人ひとりの持ち物にも名前を書いてもらっています。

これは、何年何組のだれであるかを書くことで、子ども達が、よりみなさんに分かってもらえるからです。（保護者証には家族の名前が書いてあります。保護者証を見て、名前をつけてあいさつできるといいですね。）

また、校内でけがをしたり、しんどくなったり、地震や火事などの緊急時に集まったりした時に、子ども達がだれであるかを、だれにでも分かるようにすることで、みなさんが安全かどうかを確かめることができます。

学校では、4月から「名前をつけてあいさつをしましょう!」とお話しています。児童会代表委員や生活委員が話し合って「あいさつは大切です。」とのことから正門や廊下で挨拶運動に取り組んでくれています。挨拶をされると幸せになりますね。また、毎朝8時には、正門前で誰かの声をリードに「おはようございます!」と挨拶しあっています。

この学校は自分をのぞいて749人の子ども達と約70人の先生から名前を覚えてもらえたり、大切にされたりするチャンスがあります。

お互いの名前を呼び合い、声をかけ合うことが「命を守り命を育む」学校になると考えています。登校班の仲間のお名前を知っていますか。覚えると一つ楽しいこと増えるはずです。校長先生も全員の名前を覚えたいです。

